

風呂釜に起因する火災

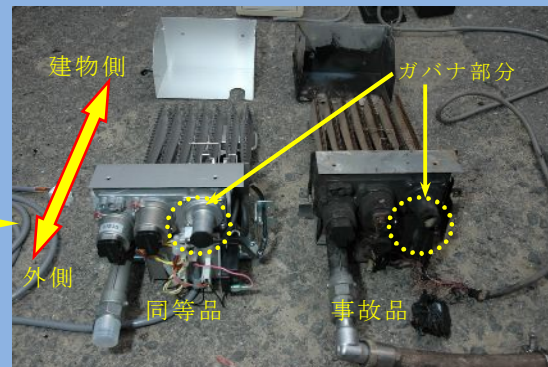
事故概要

一般住宅外周部に設置された、都市ガス用セミ外焚風呂釜内から出火し、バーナー機器内部の電気配線等を焼損した「ぼや」の火災です。

家人が浴室のリモコンスイッチを押した後、プラスチックが焼けた様な匂いがしてきたので、浴室内を確認すると、浴槽内にはお湯が沸いた状態で異常はなかったが、外周部を見に行くと、ふろがまの焚口のカバーの下から炎が10cmほど上がっていたとのこと。家人による水道水での初期消火が成功しました。



焼損した風呂釜



同等品のバーナーとの比較

原因概要

セミ外焚風呂釜のバーナー部分は㈱世田谷製作所が製作したものです。

「世田谷製作所のバーナーの部品の一部（ガバナ）に亀裂が入り機器内部でガス漏れが生じる恐れがあることが判明しました。」と社告も出しており、焼けの状況、鑑識の結果（バーナー内部のダイヤフラムの一部に亀裂があるのが確認された。）から、バーナーが燃焼中にガスがガバナ内部の亀裂から漏れ、バーナーの炎が着火し機器内部の電気配線等を焼損し火災に至ったものと判定しました。

類似火災の防止対策

既に、メーカーが2007年4月19日付けで、1997年6月～2006年5月に製造された対象商品の点検・部品交換作業を実施しています。

2007年11月5日現在、全国で約3万9000台が製造され、そのうちの1万8430台が回収、部品交換が終了しています。

これまでに火災が1件、焼損事故に至った事例は20件で、いずれも、風呂釜のみの焼損ですが、火災につながる恐れがあります。

下記の機器をお使いの方は、メーカーに連絡して至急点検・部品交換作業

をしてください。

販売者	株世田谷製作所	フリダヤル	0120-634-126
対象機器	R38B	ふろがま	1998.5~2006.5 製造
	R137B	ふろがま	1997.6~2006.5 製造
	CS31B	ふろがま	1998.6~1998.8 製造
	CS32B	ふろがま	1998.10~2006.4 製造
	CS33B	ふろがま	2001.5~2001.6 製造
	FE15	ふろがま	2000.4~2006.5 製造
	TA-097UET	ふろパーナ	1997.9~2006.5 製造
	TA-270UET	ふろパーナ	1997.8~2006.5 製造
	TA-OK270UET	ふろパーナ	1997.8~2006.5 製造
	GS-1	ガストーブ	2000.11~2005.11 製造

販売者	株オカキン	フリダヤル	0120-581-126
対象機器	OK-AR 型-LE	ふろがま	1997.11~2006.8 製造
	OK-BR 型-LE	ふろがま	1997.11~2006.7 製造
	※ 株世田谷製作所より、ふろパーナを供給		

販売者	株ハーマン	フリダヤル	0120-248-772
対象機器	YF702	ふろがま	1997.6~2002.2 製造
	※ 株世田谷製作所の、OEM品		

.....火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。.....

